

目標：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現	
【指標】 ○ 国語科において、学習のゴールを意識して計画を立てたり考えたりできる 目標：90%（児童アンケート R6後期90.8%、前期86.6%） ○ 授業中、問題の解き方や、考えたことが、伝えたい相手に伝わるように、ノートやタブレットに書いている。 目標：90%（児童アンケート R6後期90.1%、R6前期85.1%）	【具体的方策】 研修での取組に合わせて ○ 個別最適な学び 主体的に学習する態度を目指して ・ ゴールを意識できる授業 ・ 振り返りのある授業 ・ 児童がゴールを目指して学びを計画できる授業スタイル ○ 協働的な学び ・ ICTを使用した対話の活性化 ・ 自他の違いを認め合える学級風土作り（UDを意識した授業づくり）
【見通し】 ・ 単元や授業の課題やゴールを明確にし、児童と共有する授業・振り返りのある授業をしましょう。 ・ 対話の活性化のために、ICTを積極的に活用しましょう。 ・ 互いに助け合い、認め合い、高め合う人間関係を目指しましょう。	

個別最適な学習・協働的な学習

目標： 確実な基礎力の定着	
【指標】 ○ チャレンジテスト平均正答率目標 65% ②…2学期末問題、①…1学期末問題の略 【R6】国語②・①共に5/6学年未達成、算数②・①共に5/6学年未達成 【R5】国語②3/6学年未達成・①4/6学年未達成、算数②3/6学年未達成・①4/6学年未達成 ○ チャレンジテスト正答率50%以下の児童を0%に近付ける ○ 全国学力調査・標準学力調査正答率の向上 目標：全国平均-3%以内	【具体的方策】 《国語科》 課題や問題文の把握を丁寧に行い、必要な情報を抜き取る練習をさせる。 《算数科》 四則計算の反復練習 ○ ベーシックタイムの継続 ・ 朝のベーシックタイムで、算数（四則計算）、国語（読解）等に繰り返し取り組むことで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 ○ 各種テストの結果分析 ・ MEXCBTを活用した「チャレンジテスト」や「全国学力・学習状況調査」の過去問題に取り組み、苦手な問題を減らす。 ・ デジタルの問題においても、十分に読む時間を確保し、ページ滞在時間を長くさせる。
【見通し】 ・ デジタルドリルを使用し、基礎・基本の練習問題を繰り返させましょう。 ・ MEXCBT等のICTを活用し、CBT形式のテストに慣れさせましょう。 ・ 学習のまとめの振り返りや、ミニ作文など、自分の考えを書く（打ち込む）活動を充実させ、文章を書くことに慣れさせましょう。 ・ 文章を読み取る際、聞かれていること・答えるべきことが何かわかるよう指導を工夫しましょう。	

基礎基本・学習内容の定着

目標： 家庭学習の習慣化と学習内容の充実	
【指標】 ○ 家庭学習目標時間（学年×10分）達成率 目標：取組時間達成率毎月80%以上 ○ 家庭学習の質の向上（自分で計画した学習の継続） 評価：（毎日）家庭学習チェックシート（内容・時間・めあて・振り返り）の確認により 評価：（週1回程度）持参する家庭学習の内容の確認により	【具体的方策】 ○ 「家庭学習の手引き」に基づいた指導 ・ 保護者や児童が家庭学習の取り組み方に困った際に活用できるよう、懇談会や個人懇談等で直接説明する機会を設ける。 ○ 家庭学習の記録の蓄積 ・ 家庭学習の取組状況やめあてと振り返りを「家庭学習チェックシート」に記入し、自分の学習の現在地が分かるようにする。 ○ 強化週間の取組 ・ 家庭への呼びかけを含め、普段以上に力を入れて取り組ませる。
【見通し】 ・ 児童と目標の共有（提出率、学習時間など）をしましょう。 ・ 「家庭学習の手引き」に基づいた取り組みを折に触れて指導し、「家庭学習チェックシート」の入力内容についてフィードバックを行いましょう。 ・ 毎日、学習後に学習内容をチェックシートに記入し、振り返る習慣を身に付けさせましょう。	

家庭学習習慣の充実



たくましく生きるための健康や体力づくり	
目標： 体力づくりの強化	目標： 平日のメディア時間の短縮
【指標】 ○ 体力づくりの取組のより一層の充実 目標：新体力テスト体力合計点 前年度の全国平均以上の児童の割合が50%（※本校に課題がある種目 握力…53% 50m走…46% ソフトボール投げ…55%）	【指標】 ○ 児童アンケート「ゲームをしたりテレビを見たりしている時間が2時間以内」 目標：80%以上（R6後期 68%、前期 66%、R5後期 74% 前期 72%） ○ 児童アンケート「ゲームをしたり見たりしている時間が4時間以上」 目標：0%（R6後期 18%、前期 20%、R5後期 15%、前期 11%）
【具体的方策】 ○ 体力づくり強化の取組 ・ 体育健康委員会によるレクの計画と実施をする。 ・ 短縄跳びの目標設定し、月2回体育の準備体操に合わせて取り組み、記録をとる。 ・ シャトルランを実施する（前期は6月）ことで、全身持久力の向上を目指す。	【具体的方策】 ○ アウトメディア読書週間の計画と実施 ・ アウトメディア読書デーを月2回行い、結果をもとにメディアとの付き合い方や生活リズム等について繰り返し指導する。 ・ 生徒指導部だより、学級通信等を通して、定期的に保護者への啓蒙を行う。 ・ 教務部と連携し、平日の読書の時間を増加するよう指導する。
【見通し】 ・ 短縄跳びの目標を児童と設定し、体育のウォーミングアップにも取り入れましょう。 ・ 走力や持久力を向上させるために体育の授業の初めに「体力づくりの運動」を取り入れましょう。	【見通し】 ・ アウトメディア読書デーには、図書室や家庭の本を読む時間を持ち、電子メディアに触れる時間の削減の取組を強化しましょう。 ・ 規則正しい生活について、家庭の協力が得られるよう指導部だよりを使って啓蒙し、定期的に呼びかけを行いましょう。

読書習慣の定着（豊かな人間性の向上）	
目標： 国語教科書に紹介されている本を読む児童の増加	
【指標】 ○ 読書通帳並行読書ページの記録 目標：低学年→8冊分 中学年→6冊分 高学年→4冊分 ○ 読書通帳「図書室貸出」または「家の本」のページの記録 目標：0冊の児童が0%	【具体的方策】 ○ 学校司書と連携した図書館活用促進 ・ 並行読書週間（年に1回 単元は担任が決めて、学校司書へ伝える・読書通帳の発行） ・ 学習や学級に合わせた本の紹介 ・ 委員会活動・読書週間の取組における連携 ・ 読書通帳による読書量の可視化と表彰 ・ 図書の紹介や読み聞かせなどをベーシックタイムや読書の時間に積極的に行う。 ○ 読む力を付ける活動の充実 ・ 国語～図書室活用や読書に親しむ単元の充実 ・ 国語の教科書に紹介されている図書の教室配置
【見通し】 ・ 学習に合わせて教科書に紹介されている本を読む指導や、学校司書と連携した指導をしましょう。 ・ 朝の時間（ベーシックタイムや読書の時間）に、本の紹介や読み聞かせなどを積極的に取り入れましょう。	